

第二次名張市子ども教育ビジョン

【後期計画】（素案）概要版

2021（令和3）年度▷2025（令和7）年度

令和3年3月
名張市教育委員会

名張市教育振興基本計画

第二次名張市子ども教育ビジョン【後期計画】

社会を拓く次世代のための新たな教育をめざして

めざす子ども像：夢をはぐくみ 心豊かで 元気な「ばりっ子」

＜子どもに育みたい力＞
夢を実現する力 社会を拓く力

＜基本方針＞

- 1 しっかりつなぐ育ちのバトン（縦の接続を重視した教育）
- 2 がっちり組もう育ちのスクラム（横の連携を大切にした教育）
- 3 ぐんと高める育ちのシステム（教育センターを拠点とした教育）

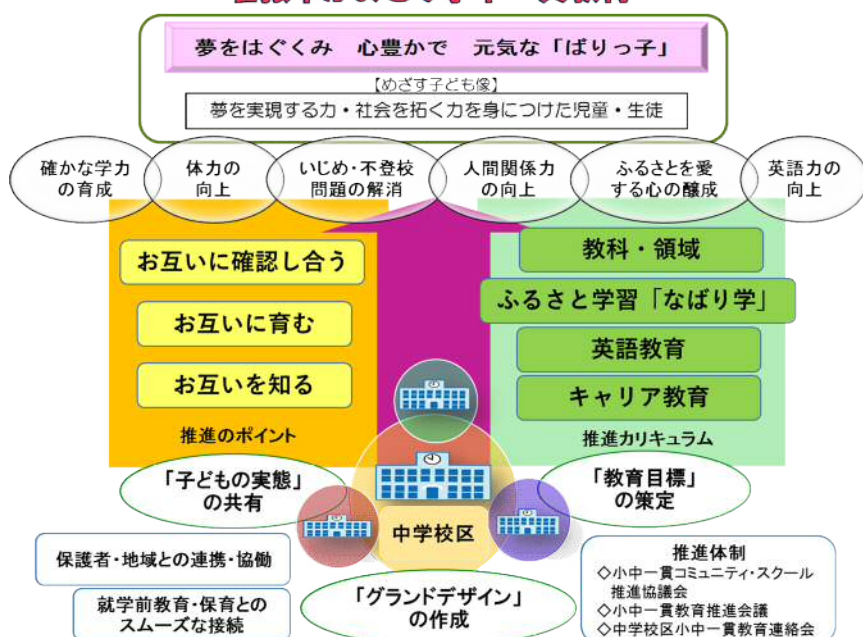
重点取組

1. 小中一貫教育の推進

小学校教育から中学校教育への円滑な接続をめざし、義務教育9年間を通じて子どもの発達に合った学びを実現するため、小中一貫教育の取組を推進します。

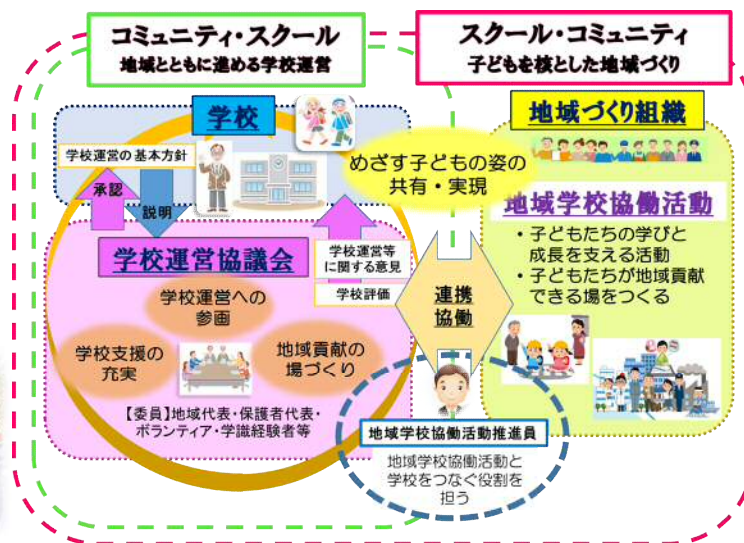
子ども一人一人が、自分の良さや可能性を認識するとともに、他者を尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会の変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となるための教育（SDGs※を実現するための教育）を推進します。

* 名張市がめざす小中一貫教育 *



2. 名張版コミュニティ・スクールの推進・充実

学校、家庭、地域がともに知恵を出し合い、地域づくり組織等と連携・協働しながら子どもの豊かな成長を支え、学校が、地域コミュニティの絆・生きがいがいづくりの核となるよう、名張版コミュニティ・スクールを推進するとともに、子どもを核とした地域づくり「スクール・コミュニティ」の体制づくりに取り組みます。



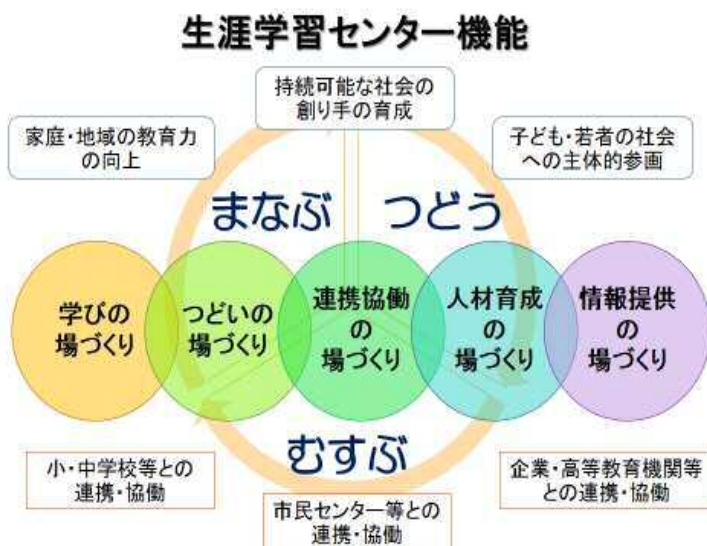
3. 教育センター機能の充実

学校、家庭、地域が一丸となって、子どもの育ちを支援するための拠点施設である教育センター機能をより充実させ、子どもの育ちと学びを一体的に支援します。



4. 生涯学習センター機能の構築

子どもから高齢者まで生涯にわたって学び続けられる場を作り、仲間づくりや地域のネットワーク拠点となる機能を市民センター等との連携・協働により構築することを目指します。



※SDGs（持続可能な開発目標）：Sustainable Development Goalsの略称です。2015年国連サミットで採択された2030年を期限とする国際社会全体の17の開発目標。国の「SDGs実施指針」において、政府全体及び関係府省庁における各種計画や戦略、方針の策定や改訂に当たっては、SDGsを主流化することとされています。

基本目標と主な取組

1 確かな学力の育成



- (1) 学力の向上
- (2) 特別支援教育の推進
- (3) キャリア教育の充実
- (4) G I G A スクール構想の実現
による学習活動の充実
- (5) 就学前教育の充実
- (6) グローバル人材の育成

3 健やかな体の育成



- (1) 健康教育の推進
- (2) 体力向上に向けた取組の推進
- (3) 食育の推進

5 安全で安心な教育環境の整備



- (1) 子どもの安全・安心の確保
- (2) いじめや問題行動を未然に防
ぐ学校づくり
- (3) 居心地の良い集団づくり

2 豊かな人間性の醸成



- (1) 人権・同和教育、道徳教育の推進
- (2) ふるさと学習「なばり学」の推進
- (3) 持続可能な社会の創り手となるた
めの教育の推進
- (4) 読書活動・文化芸術活動の推進

4 活力ある学校づくり



- (1) 教職員が働きやすい環境づくり
- (2) 学校の組織力の向上
- (3) 教職員の指導力の向上

6 家庭・地域との協働の推進



- (1) 家庭の教育力の向上
- (2) 地域の教育力の向上